【所属名：教育委員会文化振興課（博物館）】
【会議名：糸魚川市博物館協議会　全体会】

☑開示
☐一部開示　(理由:条例第　条第　号　該当)
☐不開示
☐時限不開示　(開示:　　年　　月　　日)

会　議　録

作成日　令和５年６月 30 日

日	令和５年６月 29 日	時間	14:00　～　15:50	場所	フォッサマグナミュージアム　研修室
件名	議題１　報告事項１～５ １　令和４年度博物館協議会の活動について ２　入館者数等に関する事項について ３　ミュージアムショップの運営状況について ４　令和４年度博物館諸事業（業務担当分）について ５　令和４年度博物館諸活動（学芸員担当分）について 議題２　協議事項 １　令和５年度博物館協議会の活動計画について ２　令和５年度事業計画について その他 １　博物館入館量の見直しについて ２　開館 30 周年について（令和６年度）				
出席者	【出席者】９人 専門部会　椚座委員　大塚委員　松岡委員　山縣委員 運営部会　中村委員　野本委員　川合委員　横澤委員　銀林委員 【欠席者】１人 運営部会　村井委員 【事務局】６人 博物館　竹之内館長　池亀係長　茨木学芸員　小河原学芸員　香取学芸員　郡山学芸員				
	傍聴者定員	- 人	傍聴者数	- 人	

会議要旨

１　開会
　館長あいさつ
２　会長、副会長の選任
　椚座会長、野本副会長を選任。
３　部会の設置
　別紙名簿の通り。部会長に椚座専門部会長、野本運営部会長を選任。

４　協議事項
（１）報告事項
【事務局】報告事項１～５を資料に基づき説明。
質疑

【委　員】リニューアル後に入館者が増加して高い水準で維持。分析はしているか。
【事務局】行っていない、企画展や石の鑑定などお客様に選ばれた結果と考える。
【委　員】石のガイド養成講座。ジオパークガイドとの兼ね合いは。
【事務局】ジオパークで育成している観光ガイドとは別の取り組み。石に特化したガイド養成。もちろん地質の保全やヒスイの保全や利活用も伝えている。
【委　員】人数は？養成講座受けた全員がガイドになれるのか。
【事務局】約 40 人。試験がある。
【委　員】FMM 以外も訪問している学校の訪問地は学校が選んでいるのか学芸員からの提案か。
【事務局】訪問地は基本的に学校が選んでいる。市内は学芸員から提案しているものもある。
【事務局】SSH 指定校や進学校は先生が訪問地を選ぶことが多い。
【委　員】大人と子どもの区分の年齢は。
【事務局】高校生までが子ども。
【委　員】近年様々な活動がオンラインでも行われている。オンライン参加者数について。
【事務局】完全オンラインの場合は内容のところに記載。
【事務局】オンラインを併用した講演会は現地とオンラインを合算して記載。
【委　員】現地・オンラインを分けて記載した方がよい。
【事務局】記録はしてある。分けて表記する。
【委　員】標本の登録に関して、「すべて登録済み」の表記は分かりづらい。
【事務局】昨年度の協議会にて標本の登録状況について示すよう指示があった。令和４年度購入、寄贈資料はすべて登録が完了してあるという意図。
【会　長】採集した標本、登録できる標本には量の差があるはず。収蔵庫の限界もある。選別した登録が必要。
【委　員】入館者数が 9 万人はすごい。しかし高校生以下無料が大きいのではないか？市の職員が時間をかけて学校対応をしている。業務の大部分を占めているはず。他自治体ならば市外学校は有料にするなど議論がある。
【事務局】リニューアルの際に高校生以下を無料にした。その他で話す予定だったが、現在高校生以下の料金見直しを検討している。料金を上げれば入館者数は減ると思うが入館料の改訂は検討しなければならない課題。
【事務局】学芸員の野外案内は料金をいただいていない。ジオパークガイドが学校対応ができるように育てている。
【委　員】学校に関して上越市からあまり来ていない。広報活動はどうしているか。
【事務局】特に行っていない。
【委　員】石のガイドの子どもは何年生？田沢小学校の出前授業はどういった内容か。
【事務局】何年生かはすぐ返答できないが、内容的には中高生向けではある。
【事務局】田沢小学校ではゲームを使った SDGs 学習を提供。田沢地区公民館と連携して３年連続で実施。
【委　員】まなそぼーよはどういった内容？広報は？
【事務局】博物館内のクイズラリー。市の広報誌に掲載はしているが、知らずに見学に来た人がその場で参加しているように思える。
【委　員】団体とは？統計の分析がおこないやすい表記が必要。

【事務局】20 人以上が団体割引。各種割引を利用した入館料 400 円を団体に計上している。集計上の問題。実状では個人の方がほとんど。

【委　員】入館者の中で障がいを持っている方の率はどのくらいあるか。

【事務局】手持ちの資料では説明できない。障がい者手帳の提示で入館の免除制度はある。

（２）協議事項

【事務局】令和５年度博物館協議会の活動計画、令和５年度事業計画について資料に基づき説明。

質疑

【委　員】教育普及活動について。学校案内を積極的に広報した方がいいのか、ガイドの育成ができてから広報した方がいいのか。

【事務局】現在は依頼があったものすべてを受ける形。

【事務局】学芸員５名在籍しているので多くの方にご利用いただきたい。将来的にはジオパークのガイドと連携した団体案内ができればより良い。

【委　員】先ほど上越地域に声掛けという話も出たが積極的に広報をすべき？学芸員も忙しいので対応が可能か？

【事務局】学芸員ができる範囲となってしまう。広報に力を入れるかは検討させていただく。

【委　員】学芸員の人数が増えたので単純に受け入れ数が増加する不安はある。ガイドとの連携に関する長期的なビジョンは考えてほしい。

【会　長】友の会、入館者数、ガイドなど周囲の状況も変わってきている。学芸員の質や活動のクオリティを上げることも将来を見越して必要。30 年間変わっているように思えない。

【事務局】中長期的ビジョンを考えることがあまりなかった。専門部会で中長期的ビジョンを考える場を作るのも必要。

【委　員】ガイドと学芸員が連携することによって学芸員の負担は減る。ガイドの数は？

【事務局】人数は 20 人程度、稼働しているのは 13 人程度。高齢化している。進学校は学芸員の説明を求めることが多い。ニーズに基づいて対応できるようにしていく。

【委　員】博物館として出版物をしっかり出していくことが必要。一般書店に置けるものを出版することも戦略。

【事務局】前向きに検討する。

５　その他

（１）　入館料の見直しについて

・高校生以下無料から小学生未満無料への変更を検討中

・一般入館料の値上げも検討中

・９月の定例会で条例改正。令和６年４月から新料金への移行を検討中

（２）　開館 30 周年について

・具体の計画は決まっていないがご承知おきいただきたい

【委　員】高校生以下無料だからたくさん人が来ている。有料化すると１万～２万人減。子ども有料は魅力がなくなる。

学芸員の館内ガイドは無料、館外のガイドの料金を取ることはできないのか。

【委　員】入館料値上げに関してどこからそういった声が出たのか？

【事務局】リニューアルの際に教育旅行に力を入れるために 18 歳以下無料。取り組みが功を奏してきたので、呼び水としておこなってきた無料は必要ないという議論になった。社会教育施設なので安価に抑えたい。

【委　員】誰に一番博物館を見ていただきたいかというと子どもたち。すごいな糸魚川と思ってもらうきっかけはここに来ること。無料のままであって欲しいというのが願い。

【委　員】ジオパークのハブであるので影響は全体に行く。小学生～高校生を一律もどうか。

【委　員】リニューアルしてから無料ということが知られていないのではないか。

【事務局】窓口で高校生以下無料とお伝えすると喜ばれることはある。

【委　員】呼び水で 7 年程度の無料、年寄りは覚えているかもしれないが子ども世代はどんどん入れ代わる。

【事務局】協議会の意見は上の方に共有しておく。

【委　員】博物館法では原則無料。

【事務局】国立博物館でも入館料を取っている。地方の博物館も軒並み値上げしている。合わせて当館も値上げを検討。

【委　員】糸魚川として公共交通機関の問題があると思う。博物館の活動も意識したものが必要。子どもが単独で来られる企画。チラシにもバスの時刻表を載せるなど。

【委　員】名簿について。博物館法は館長と学芸員を置くことと記載されている。学芸員業務に就く人員は記載すべき。また、学芸業務を応援する存在が必要。研究員の登録について検討していただきたい。

5　閉　会

以上